



グリコセブンティーンアイス杯第7回プロアマトーナメント

5月25・26日 / 神戸六甲ボウル

川添奨太が通算18勝目 内藤真裕実 は悲願の初V

今年で7回目を迎えたグリコセブンティーンアイス杯プロアマボウリングトーナメントは、男子はアマ36名を含む108選手、女子はアマ18名を含む54選手によって争われた。男子は川添奨太(49期・トドロキボウル)が、永久シードまであと2勝に迫る18勝目を挙げれば、女子は内藤真裕実(48期・フリー/サンブリッジ)が、5年目で待望の初タイトルを獲得した。(主催：(公社)日本プロボウリング協会 特別協賛：江崎グリコ(株)/(公社)日本ボウリング場協会)



▲男子優勝の川添と女子優勝の内藤

予選(8G)、準決勝(6G)の14Gトータル上位男女各4名が決勝シュートアウトに進出した。

男子

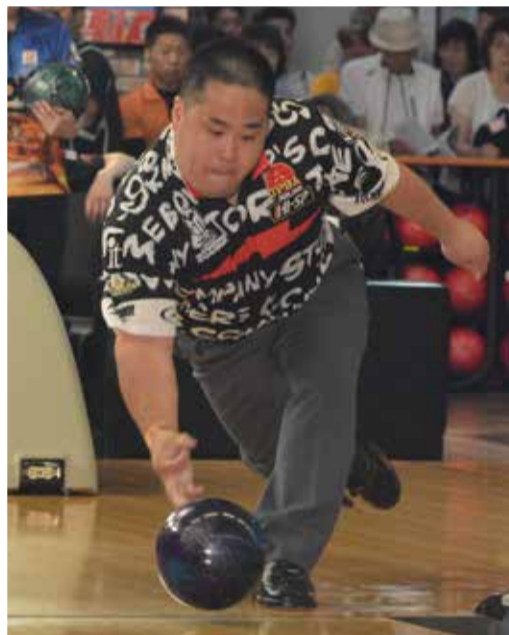
男子は断トツのトップ通過の谷合貴志をはじめ、永野すばる、川添奨太の実力プロに交じって、アマの西川弘樹選手(山科グランドボウル)が進出を決めた。

4名による1Gマッチのシュートアウトは、谷合が4フレの⑩ピンタップが惜まれる279を叩いて勝ち抜け、2番目の座は、1フレ⑩ピンをカバーミスの西川選手が3フレからの6連発で勝ち抜けるかと思われたが、9、10フレとストライクが切れたすきに、川添が8フレからのオールウェーでまくりを決めた。

優勝決定戦は、1フレからフィフスでリードを奪った川添が、谷合の後半の追い上げを、9フレからのオールウェーでシャットアウト。258:236で退けて、第2回大会以来2度目の優勝で、通算18勝と伸ばした。

●川添のコメント

谷合プロは、自分の世界を作って入り込むタイプで、マッチゲームに強い印象がある。ましてや前のゲームで279を打っていたので、優勝決定戦は300を出すぐらいの気持ちで



▲「予選から厳しい状況の連続だった」川添だが、そこをしのいで18勝目につなげた

投げよう決めていた。最近のマッチゲームのなかではいいボウリングができた。これで18勝。今は1勝するのがすごく大変になってきているけど、最低でも全日本選手権まであと1勝して、王手をかけて全日本に臨みたい。(優勝ボール：STORM アストロ・フィジックス)

女子

女子は、予選からトップを快走した川崎由意をはじめ、内藤真裕実、寺下智香、浅田梨奈の4名が決勝シュートアウトに進んだ。このうち寺下を除く3名が、初タイトルを目指す48期という顔ぶれとなった。

シュートアウトは、寺下が4、9フレのスペアを除く10個

のストライクで258を叩いて文句なしの勝ち上がり。そしてもう一枠は内藤と浅田の争いとなったが、7フレからのダブルで半マークリードの内藤を、逆転を狙った浅田の10フレだったが、1投目は④を残し、内藤が7ピン差で優勝決定戦に進んだ。

優勝決定戦は、右レーンでストライクがこない寺下を、4フレからダブルの内藤が1マークリードで後半へ。後半も互いに我慢の展開だったが、9フレにストライクを持ってきた寺下の逆転をかけた10フレは、⑩ピンタップで内藤がリードを守り切り、うれしい初優勝を飾った。

●内藤のコメント

決勝は先に男子があったの

で、レーンが遅くなっているだろうからとりあえず中に寄って、上のクラスのボールを投げようと思っていた。そしたらラインは出たので、あとは飛ぶかどうかだと思ったけど、笑っちゃうくらい飛ばなかった。優勝決定戦の10フレも、⑩ピンが飛ばずにまた2位かと思ったけど…、自分で決めた優勝じゃなかったの、泣けなかった。でも優勝ってこの空気感、こういう景色なんだ、というのは感じられた。(優勝ボール：BWメソッドソリッド)

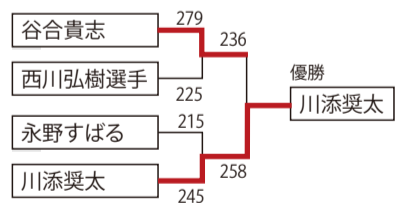
◀「何度も悔しい思いをしてきたので、やっぱり長かったなと思うと5年目の初タイトルの内藤



▲「優勝決定戦はピンの飛びが悪くなった。でも奨太はやっぱり強い」と惜敗の谷合

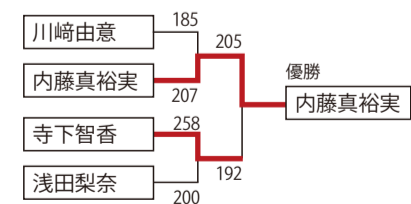


▲「ボールを替えて割れたらどうしようというのが頭をよぎって…、すごく悔いが残っています」と寺下



優勝決定戦

川添 奨太	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	30	60	90	119	139	159	179	199	229	258
谷合 貴志	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
	19	39	68	88	108	137	157	177	207	236



優勝決定戦

内藤真裕実	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	20	39	59	88	108	127	146	166	186	205
寺下 智香	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
	20	40	60	80	96	115	134	154	174	192



▲左から優勝・川添、2位・谷合、3位(ベストアマ)西川選手、4位・永野



▲左から優勝・内藤、2位・寺下、3位・浅田、4位・川崎、ベストアマ・武部公英選手